

目指せ！家事男（カジダン）・イクメン ～ママと子どもの笑顔のために～

キーワード：「男性の家事・育児参加」「大学生との連携」「子どもへの意識啓発」

活動の内容 家事、育児を通じて固定的な性別役割分担意識の解消をめざす

家事男写真展・家事男川柳展

〔目的〕家事や育児に積極的な男性の生活の様子を写真や川柳を通して紹介することにより、男性の家事・育児参加を推進し、男女共同参画への意識啓発を行う。

〔開始時期〕写真展：平成23年度、川柳展：平成24年度

〔内容〕家事男・イクメンの写真、川柳を募集し、応募作品の表彰及び展示を行う。

父子で学ぶ男女共同参画Day

〔目的〕子育て世代の男性と子どもに家事体験を通して、固定的な性別役割分担意識の解消を行う。また、大学生と連携することで、若い世代に対する意識啓発も同時に行う。

〔開始時期〕平成23年度

〔内容〕大学生が子ども向け講座（男女共同参画に関するクイズなど）を企画し、実施する。家事体験として、そうきん縫い体験（23年度）・料理体験（24年度）を行う。対象は小学校低学年の子どもとその父親。23年度は国立大学法人大分大学の教育福祉科学部の学生、24年度は別府大学の食物栄養科学部の学生に協力を得た。

活動のきっかけや目的 女性ばかりではなく、男性にも興味をもってもらいたい

・22年度に「第3次おおいた男女共同参画プラン」を策定する際に、これまで行ってきたイベント等の参加者の大多数が女性で、男性や子どもに対しての啓発が充分でなかったという課題が浮上したことをきっかけに、男性に対してワーク・ライフ・バランスの推進や家事、育児への参加を促進するための啓発活動を行うことで、固定的な性別役割分担意識の解消を目指したい。

活動の成果や今後の展開 より広がりのある活動をめざす

家事男写真展・家事男川柳展

・23年度に実施した家事男写真展は、県内各地で展示したことで、多くの男性に対して家事や育児に積極的に取り組んでいる男性の姿をわかりやすく紹介することができた。

また、テレビ東京で放送された「日本お国柄ランキング」のなかの、「日本一夫が家事育児をしない県～大分～」の取材で、当県が実施した家事男写真展と入選者の家庭の様子等を紹介していただいたこともあり、多くの方に知ってもらえる良い機会になった。

ただ課題として、写真は個人が特定されるため応募者が多くなかったため、24年度からは、より応募しやすい川柳へ切り替えることで、応募者の増加を目指したい。

父子で学ぶ男女共同参画Day

・子どもと一緒に参加するため、これまで参加が少なかった子育て世代の男性の参加に繋がり、参加した父親も子どもに教えるため、日頃やり慣れない裁縫に積極的に取り組む姿が見られた。また、大学生や子ども等の若い世代に対しても男女共同参画を考える良い機会になった。

ただ課題として、実施時期や場所の検討、市町村事業などにより地域への広がりを目指したい。

活動を活性化するための工夫、上手くいった点



ポイント

〔家事男写真展・家事男川柳展〕

- ・22年度に福岡県が「九州地区男女共同参画センター合同プロジェクト事業」として、提案したこともあり、九州ブロック全体へ事業が広がった。
- ・当県の子育て支援担当課の事業を通じて発足した、子育てを楽しむパパサークル「おおいたパパくらぶ」のメンバーからの応募や知人への紹介等により応募しやすい環境ができた。
- ・写真展の実施を経て、写真は個人が特定されることもあり応募を躊躇する方もいるため、より応募しやすい川柳展へ切り替えた。

〔父子で学ぶ男女共同参画Day〕

- ・ターゲットである子育て世代の男性の参加を目指して、子どもが興味を持つようなイベント（映画上映等）を企画し、休日に親子で参加する形式とした。また、子ども向けの講座を大学生にお願いすることで、子どもにとっても親しみやすく分かりやすいよう工夫した。（結果的に、子育て世代の男性と大学生や子どもなどの若者世代の両方に啓発ができた）
- ・大学の教授等が事業内容にご理解いただき、好意的にご協力いただけたおかげで、大学生との連携が可能になった。
- ・初年度の実施を経て、実施時期をイベントの多い夏休み期間から秋の週休日へ変更を検討。また、実施内容によっては施設の設備等の関係で募集人数が限られるため、市町村による実施など地域への広がりを目指したい。

その他（担当者がやりがいを感じる時・参加者の声）

家事男写真展・家事男川柳展

（担当者の声）

- ・応募された家族や子どもを思う自然な笑顔の写真を見ると、こちらも温かい気持ちになった。
- ・川柳は文章のため、短く集約された言葉の中に、各世代の方の生活の様子や風景を想像できる楽しみがある。また、川柳は男女問わず幅広い世代の方から応募がある。

父子で学ぶ男女共同参画Day

（参加者の声）

- ・親子で一緒に活動できるのが良かったです。そうきん縫いはやってみると面白かったので家でもしてみたい。娘が縫い物をできることを知らなかった。新たな一面を発見できた。大学生の講義やサポートが良かった。また同じような企画があれば参加したい。（お父さんの声）
- ・〇×クイズで知らないことが、いっぱい知れて面白かった。そうきんを作るのは、難しいけど楽しい。お母さんのお手伝いができる。映画が面白かった。また参加したい。（子どもさんの声）

【パパの子育て応援本】

【家事男写真展（優秀作品）】【父子で学ぶ男女共同参画Day】



男性の子育て参画意識の向上を図るため、男性の「育児休業」を題材にしたマンガ本を作成。
（大分県子ども子育て支援課）

<http://www.pref.oita.jp/site/papakosodate/papaouenmanga.html>

【大分県消費生活・男女共同参画プラザ・事業紹介】
家事男写真展・家事男川柳展・父子で学ぶ男女共同参画Day
（平成23年度事業開始）

〔ホームページ〕 <http://www.pref.oita.jp/soshiki/13040/>

〔連絡先〕 ☎097-534-2039（参画推進班）